

**2022年度
東葛地域 青少年相談員研修会
「アイスブレイク研修」**

2022年8月6日(土)

一般財団法人 千葉YMCA

1

<本日の内容>

【講義】

- 自己紹介
- 新型コロナの対応
～千葉市少年自然の家の取り組み～
- なぜ、アイスブレイクが必要？
- ゲームの組み立てと指導者の関わり
- 安全管理

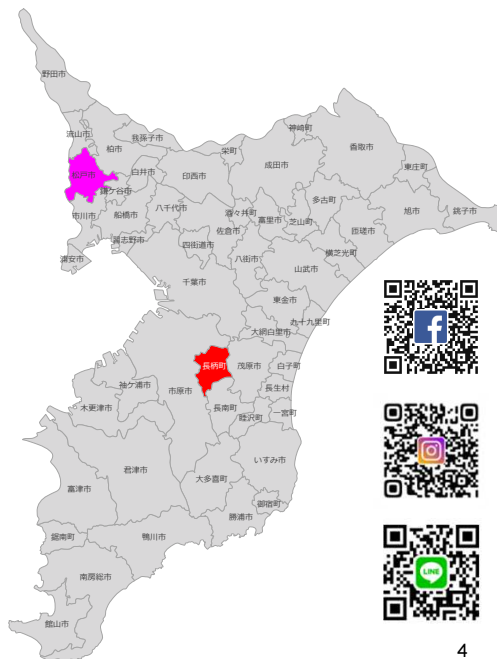
【実践】

自己紹介

- ・千葉市少年自然の家スタッフ
 - ・プログラム開発・主催事業の統括
- 現在、プログラムは200件以上
主催事業は年70件以上

3

自己紹介



4

新型コロナの対応（千葉市少年自然の家）

「持ち込まない」
「拡げない」

5

6

新型コロナの対応（千葉市少年自然の家）

(1)「三つの密」を避けるための対応

- ・ソーシャルディスタンス（1～2mを目安）の呼びかけ
- ・窓、扉の開放や定期的な建物内の換気

(2) 感染防止のための対策

- ・複数の学校・団体・家族の集まる場所（食堂など）では、マスクの着用

→ 熱中症対策も

7

新型コロナの対応（千葉市少年自然の家）

- ・石鹸を用いたこまめな手洗い・うがい、咳エチケットの徹底
- ・各所に消毒液を設置

(3) スタッフの安全確保

- ・スタッフはマスク等を着用
- ・スタッフは出勤前の検温を実施

8

新型コロナの対応（千葉市少年自然の家）

（4）健康チェックの徹底

- ・利用前・利用中に健康チェック

- ・以下は、利用を控える

- 発熱や咳などの風邪の症状がある場合
- 家族など、周囲に風邪症状のある方がいる場合
- 過去2週間以内に感染が引き続き拡大している国・地域への訪問歴がある場合等
- 移動制限を伴う、緊急事態宣言発令地域からの来所等

9

新型コロナの対応（千葉市少年自然の家）

- ・【宿泊】体調管理のため、健康チェック（検温）を1日2回（朝・夜）実施

- ・【日帰り】入所（集合）時の、健康チェック（検温）実施

- ・異常が認められる場合は、隔離できる準備

10

新型コロナの対応

アイスブレイクのポイント

- ・感染状況に合わせた基準を決めておく
- ・社会情勢に合わせて見直す

接触) 身体接触、道具の共有

飛沫) 密接頻度・時間

エアロゾル) 場所、換気

11

新型コロナの対応

制限レベル		④	③		②	①
基準目安※1		レベル4 (緊急事態宣言 発令中)	レベル3 まん延防止等重点措置期間 (旧ステージⅣ)	レベル2 (旧ステージⅢ)	レベル1 (旧ステージⅡ)	レベル0 (旧ステージⅠ)
活動内容		実施不可	接触感染・飛沫感染リスクが 低い活動		接触感染・飛沫感染の配慮を 行うことで感染リスクが 軽減される活動	密接・接触・備品の使い回 を伴う活動
接 触 感 染 リ ス ク	身体接触		接触なし 身体同士が触れ合うことはない		手と手 手と手が触れ合うことがある	身体 身体と身体、または身体の一部が 触れ合うことがある
	備品の共有		なし		あり	あり
飛 沫 感 染 リ ス ク	密接頻度※2		めったに無い		時々 15分に1回程度	5分に1回程度
	密接時間※2		一瞬 5秒以内		短い 30秒未満	長い 30秒以上

※1：2021年11月8日新型コロナウイルス感染症対策分科会提言「新たなレベル分類の考え方」を受け千葉県から示されたレベル移行に係る指標等を参考に新型コロナウイルスの感染状況を判断し、当所スタッフが設定する。

※2：密接とは、互いに手が届く距離での会話や発声

12

なぜ、アイスブレイクが必要？

- 入学直後、クラス替え直後を思い出してみよう。

- どんな気持ちでしたか？

- どんな時に「ホッと」しましたか？

- 周りの人と話すきっかけは何でしたか？

13

14

ゲームの組み立てと指導者の関わり

§1 導入段階(出逢い)

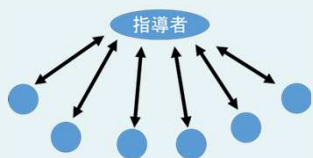
- ・一人とみんな(全体)
- ・指導者と子ども
→ 活動の主体は指導者
- ・活動の導入
→ 期待感, 雰囲気作り

子どもの動き	子ども同士の関わり	指導者の関わり
静	少	多

15

ゲームの組み立てと指導者の関わり

§1 導入段階(出逢い)

		指導者の働きかけ	参加者との関わり
導入段階	やる気を作り出す	☆楽しい体験 ・期待感 ・同時動作 ・興味づけ ・目標の確認 ・指導者自信の人間味の表現	

16

ゲームの組み立てと指導者の関わり

§2 交流段階(ふれあい)

- みんなで楽しく
- 子ども同士の触れ合い
→ 活動の主体は指導者
- グループ活動への導入
→ 友達へ興味を持つ,
どんな子が知るきっかけ,
名前を覚える

子どもの動き	子ども同士の関わり	指導者の関わり
中	中	多

17

ゲームの組み立てと指導者の関わり

§2 交流段階(ふれあい)

		指導者の働きかけ	参加者との関わり
交流段階	仲間と生きる	☆関わりあいの芽生え ・ふれあいをつくる ・相手の名前と顔を一致させ信頼関係を築かせる ・大きな声や笑いを自然に出させる	

18

ゲームの組み立てと指導者の関わり

§3 自己表現段階(語り合い)

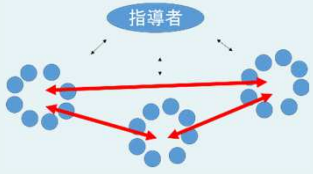
- ・グループで楽しく
- ・グループでの活動
→ 活動の主体は子ども達
- ・グループ活動の効用
→ 仲間意識, 対立

子どもの動き	子ども同士の関わり	指導者の関わり
多	多	少

19

ゲームの組み立てと指導者の関わり

§3 自己表現段階(語り合い)

		指導者の働きかけ	参加者との関わり
自己表現段階	自己表現ができる	☆自己の積極性 ・集団作業を十分にさせる ・個人がそれぞれの力を発揮できる場をつくる ・グループ内で課題を解決する	

20

ゲームの組み立てと指導者の関わり

※ゲーム組み立てのポイント

- ・活動の目的・ねらいに合っているか？
- ・子ども達の年齢に合っているか？
- ・グループの状態に合っているか？
- ・実施場所(気候・天候)、準備物は適しているか？

21

22

安全管理

- ・場：すべる・転ぶ・ぶつかる・落ちる
→ 事前の下見・内容の確認・危険予知
 - ・物：壊れる・切れる
→ 点検
 - ・人：人間関係のこじれ・疲れ・体調不良
→ 子どもたちの把握・様子の観察
- (・天候 ・危険な動植物 ・無理な計画)

23

安全管理

※安全のポイント

- ・安全をすべてにおいて優先させましょう。
- ・ゆとりを持った計画を立てましょう。
- ・状況(子ども達の様子、天候等)によっては、内容を変更する柔軟性を持ちましょう。
- ・保険への加入は、不測の事態への備えとして必要です。

24

子どもの年代特性 (小1・2)

- 生活の重点は家庭。
- 生活は遊びが中心。
- 自己中心的な勝敗にこだわる。
- 善悪の判断も利己的な傾向にあり、自分のことに対しては動機がわかるが、他人の身になって考えてみる能力は未発達である。
- 遊びのなかで、自発性が育てられる。
- 遊びを繰り返すことで、自信が持てるようになる。
- 遊びのなかで、ルールを知り、次第に協調することを学び、仲間の広がりが出てくる。

25

子どもの年代特性 (小3・4)

- 外向的になり、自分のことだけでなく周りのことにも気を配れるようになる。
- 生活の場が広がり、遠出もするようになる。
- 叱られても気にしない。
- 気が散りやすい。
- 自分の都合の悪い時は黙っている。
- 仲間のルールを重視する。
- 論理的思考が育ち、遊びのルールも厳正に守り、共に楽しむことができる。
- 遊びを通して社会性が育つ。

26

子どもの年代特性 (小5・6)

- 知識欲が旺盛になる。
- 論理的な思考を好むようになる。
- 情緒の安定が促進される。
- リーダーシップをとれるようになる。
- 遊びでは自らルールを作ることができるようになる。

27

プログラム制限分類表（2022年5月改定）

千葉市少年自然の家では、本活動（プロジェクトアドベンチャー指導型）を実施するにあたり、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況に合わせ、4段階の制限レベル（活動内容）を設定しております（制限レベルは、新型コロナウイルス感染症分科会提言、緊急事態宣言の発令等を基準としています。）。実施予定時の制限レベルについてはお問い合わせください。

制限レベル		③		②		①
基準目安※1		レベル4 (緊急事態宣言 発令中)	レベル3 まん延防止等重点措置期間 (旧ステージⅣ)	レベル2 (旧ステージⅢ)	レベル1 (旧ステージⅡ)	レベル0 (旧ステージⅠ)
活動内容		実施不可	接触感染・飛沫感染リスクが 低い活動	接触感染・飛沫感染の配慮を 行うことで感染リスクが 軽減される活動	密接・接触・備品の使い回し を伴う活動	
接 触 感 染 リ ス ク	身体接触		接触なし 身体同士が触れ合うことはない	手と手 手と手が触れ合うことがある	身体 身体と身体、または身体の一部が 触れ合うことがある	
	備品の共有		なし	あり	あり	
密接頻度※2			めったに無い	時々 15分に1回程度	5分に1回程度	
密接時間※2			一瞬 5秒以内	短い 30秒未満	長い 30秒以上	

※1：2021年11月8日新型コロナウイルス感染症対策分科会提言「新たなレベル分類の考え方」を受け千葉県から示されたレベル移行に係る指標等を参考に新型コロナウイルスの感染状況を判断し、当所スタッフが設定する。

※2：密接とは、互いに手が届く距離での会話や発声